

グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年9月1日～2014年9月7日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年9月12日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

▼ロシア、アブハジア、南オセチアの軍事同盟(3日)

・3日付け露紙「イズベスチヤ」が、ロシア、アブハジア、南オセチアが NATO のような軍事同盟を結ぶ可能性があると報道。

・5日、記事のなかで情報を確認したと報じられたガブニア「アブハジア共和国副大統領(当選者)」は、アブハジアとロシアとの間で協議が進められている軍事同盟について、南オセチア側との協議を否定する声明を発表。

▼「沿ドニエストル共和国」建国記念日の式典にアブハジア、南オセチアの代表者が出席(5日)

・5日、ティラスポリで「沿ドニエストル・モルドバ共和国」の建国24周年を祝う式典が催され、アブハジアおよび南オセチア「当局」の代表者が参加。

2. 外 政

▼トゥオミオヤ・フィンランド外相がグルジアを訪問(1日-2日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、パンジキゼ外相、バクラゼ野党「統一国民運動」院内総務らと会談。

・「ハ」外相との会談では、グルジアの欧州との統合に対するフィンランドの固い支持を表明。連合協定の実施に係る支援を約束した。グルジアの被占領地域の状況、ウクライナ情勢などについて議論。

▼パンジキゼ外相とクリムキン・ウクライナ外相の電話会談(2日)

・最近のウクライナ情勢について議論。「ハ」外相は最近の事態の進展に関して憂慮を表明。グルジアがウクライナの主権・領土一体性の侵害の試みを非難し、危機の解決に向けた国際社会の努力を支持することを改めて確認するとともに、ウクライナの政府・国民に対するグルジアの政府・国民の連帯を今一度強調した。ウクライナの子供たちにグルジアでリハビリを受けさせるアイデアを「ク」ウクライナ外相は歓迎。

▼ウクライナ情勢に関する国会決議(3日)

・国会は与党連合「グルジアの夢」が提出した決議案を賛成81名、反対0名で採択。野党「統一国民運動」は別の独自の決議案の採決を与党連合に拒まれたことに抗議し、与党連合の決議案の採決に参加しなかった。

・国会決議はウクライナに対するロシアの侵略を非難。ウクライナの政府・国民に対する連帯を強調し、ウクライナの主権・領土一体性への支持を再確認。軍事行動を止め、人道的な問題を解決するべく、あらゆる手段を活

用することを国際社会に呼びかけている。また、NATO および EU に対し、ウクライナ、グルジアおよびモルドバの安全保障の強化に向けた実効的な措置を求めている。

▼ジャパリゼ国会外交関係委員会委員長がイラン国会議長と会談(3日)

・イランを訪問中の「ジャ」議員がラリジャニ・イラン国会議長と会談。経済・通商関係の発展、二国間関係の展望、地域情勢について議論。「ラ」イラン国会議長は地域におけるテロを「共通の脅威」として、地域諸国が一体となってテロと戦う必要性を強調した。

・ほかにイランのラヒムプール外務次官、イラヴァニ最高国家安全保障会議副議長、ボルジェルディ国会外務・安全保障委員会委員長とも会談。

▼アモス米海軍司令官がグルジアを訪問(4日-5日)

・ガリバシヴィリ首相、国防省高官らと会談。国防分野での協力やウクライナ情勢などについて議論。

▼マルグヴェラシヴィリ大統領がラスムセンNATO事務局長と会談(4日)

・NATO 首脳会議に先立ち、「マ」大統領がラスムセン NATO 事務局長と初めて会談。「マ」大統領は NATO 加盟への道のりにおけるグルジアに対する固い支持について「ラ」事務局長に感謝。「ラ」事務局長は、首脳会議でグルジアに与えられる「実質的なパッケージ」はグルジアの NATO 加盟の準備を更に実効的にするための新たな推進力になると述べた。

▼NATO首脳会議(4日-5日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領、パンジキゼ外相、アラサニア国防相が出席。

・NATO はグルジアに対し「実質的なパッケージ」を提示。NATO によれば、パッケージはグルジアが NATO 加盟に向けた準備を進めることを支援するもの。パッケージは、グルジアに NATO の訓練センターを設置し、また、NATO の訓練の一部をグルジアで行なうことを含む。

・首脳会議において、NATO は、グルジア、ヨルダン、モルドバを含むパートナー諸国に対する NATO の関与を強化する「防衛治安能力構築イニシアティブ」を始めることで合意した。

・首脳会議が採択した宣言は、「グルジアが将来 NATO に加盟する」という前回のブカレストでの首脳会議の決定を再確認。グルジアの民主改革、軍・国防制度の現代化に向けた努力を評価。アフガニスタンでの NATO の活動に対するグルジアの「大きな貢献」を称え、「これらの貢献は、我々の共有する安全保障に対する貢献者としての

グルジアの役割を示している」と述べている。

・宣言は、「グルジアの領土一体性・主権に対する継続的な支持」を確認し、ロシアに対し、グルジアの南オセチアとアブハジア地域の独立承認を撤回し、グルジアから軍を撤退させるよう要求。

・5日の報道記者会見で、ラスムセン NATO 事務局長は、グルジアは、オーストラリア、フィンランド、ヨルダン、スウェーデンとともに、NATO とのより高いレベルの協力を目指すグループの一員であると述べた。

・NATO 諸国と、加盟を望む 4 カ国ボスニア・ヘルツェゴビナ、グルジア、モンテネグロ、マケドニアの外相会談が行なわれた。

・首脳会議に並行して、「マ」大統領はフランス、チェコ、ポーランド、ブルガリア、ラトビアの大統領と会談。

・5日、グルジア外務省は NATO 首脳会議で採択された決定を歓迎するとの外務省声明を発表。同日、「マ」大統領も TV インタビューで「この成果に満足している」と述べた。

▼ヘーゲル米国防長官がグルジアを訪問(6日-7日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、アラサニア国防相らと会談。

・「ア」国防相との会談では、二国間の国防協力について議論。「ヘ」米国防長官はグルジアは信頼のおけるパートナーであり、米国はグルジアの国防システムの現代化および NATO 加盟の追求に対する支持を継続すると強調。ウェールズでの NATO 首脳会議で採択された「実質的なパッケージ」を肯定的に評価し、その実施の支援を約束。グルジアが求めている米国の軍用ヘリコプター (Sikorsky Blackhawk Helicopter) の購入のために必要な措置や、イスラム国との戦いにおいてグルジアが果たし得る役割についても話し合った。

・会談後に行なわれた共同記者会見で、「ヘ」米国防長官は、ロシアの行動は米国とグルジアを含む欧州の我々の友人たちの結束を強くしたとして、NATO とグルジアの関係の強化は特に重要であると述べた。

3. 内 政

▼トビリシの旧国会議事堂で国会の委員会会合が開催される(2日)

・国会運営上の取り決めに関する委員会会合がトビリシの旧国会議事堂で開催された。野党「統一国民運動」の議員は、トビリシで国会活動を行なうことは憲法に反するとして参加しなかった。憲法は(緊急事態を除き)国会の所在地をクタイシと定めている。

・トビリシの旧国会議事堂で国会活動が行なわれるのはほぼ 2 年ぶり。2012 年の議会選挙以後、約 2,200 万ラリを費やして改修が行なわれていた。

・3日にはクタイシの国会議事堂で秋期国会の最初の総会

が開かれた。

▼ガリバシヴィリ首相が武器の携帯に対する罰則の強化を指示(5日)

・最近、国内で殺人事件が相次いでいることを受け、野党などが治安の悪化と政府の不作為を厳しく批判していた。ガリバシヴィリ首相は閣議で治安の悪化を否定するとともに、内相および法相に武器の携帯に対する罰則を強化するよう指示。

4. 経 済

▼DCFTAが暫定的に発効(1日)

・全ての署名国による批准に先立ち、9月1日より DCFTA の内容の 80%が暫定的に発効。一部の例外を除き、EU 圏への輸出品に対する関税が撤廃された。

▼2014年1月~8月の入国者数(3日)

・内務省が発表。2014年1月~8月の入国者数は 3,685,834 名(前年同期比 3%増)。うち旅行者 42.5% (同 12%増)。
・入国元別では、多い順にトルコ(前年同期比 5.5%減)、アルメニア(12.2%減)、アゼルバイジャン(29%増)、ロシア(7%減)、ウクライナ(22.9%増)。リトアニア(91%増)、ポーランド(40%増)、スペイン、ラトビア、オランダ、カザフスタン(40%増)、ベラルーシ(50%増)などからの入国者数が大きく伸びている。

▼マルグヴェラシヴィリ大統領がチャクラバルティ EBRD 総裁と会談(3日)

・欧州復興開発銀行 (EBRD) とグルジアの協力、グルジア経済の現在の傾向と課題について議論。グルジア経済の更なる発展に向けた EBRD の支援が検討された。2015年に EBRD 年次総会がグルジアで開催されることの意義を強調。「チャ」EBRD 総裁は、「グルジアは EBRD 地域のなかで最も先行する改革者である」と評価し、グルジア政府との密接な協力を約束。会談にはカダギゼ・グルジア国立銀行総裁も同席した。

▼2014年8月のインフレ率(4日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は 0.5%。食料品・非アルコール飲料の価格が 2.7%上昇(牛乳・チーズ・卵 14.9%、野菜 2.6%、肉 1.1%、果物 -3.5%)。医療費が 1.6% 低下。

・年間インフレ率は 3.4%。食料品・非アルコール飲料の価格が 6.4%、アルコール飲料・タバコの価格が 5.4%、輸送費が 2.8%上昇。

▼トビリシ=アスタナ便の就航(4日)

・カザフスタン政府観光局は、カザフスタンの航空会社「Air Astana」が、2015年よりトビリシ=アスタナ間の定期航空便を就航させることを発表。

▼外貨準備高(5日)

・グルジア国立銀行によれば、8月末時点の外貨準備高は 2,707 百万ドルで 1 年前より 12.5%減。